

## 秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

各界の第一線で活躍されている方々を講師に迎え開催している美郷カレッジの後期講座「未来をつくる」が9月26日、10月1日、10月10日に宿泊交流館ワクアスにて開催されました。

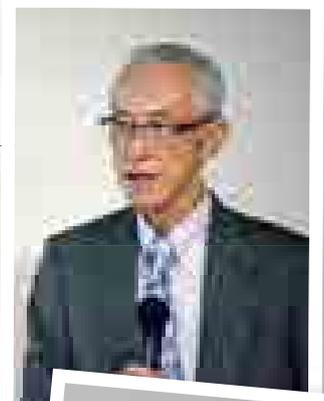
9月26日は、フィデアホールディングス株式会社取締役会議長であり、美郷大使でもある町田睿さんを講師に招き「地方創生総論」のテーマで行われました。一般講義では地方創生の狙いに始まり、出生率や地域の経済の課題などを通し、実際に地方を活性化させるために行われている取り組みなどについて学びました。

10月1日は、元東京大学総長であり、美郷大使でもある佐々木毅さんを講師に招き「歴史は動く～どこからどこへ～」のテーマで行われました。一般講義では先生が触れてきた世情の変動について触れながら、歴史を通して物事をどう捉え、理解すれば良いのかを学び、現在の私たちを取り巻く世界や将来について考えました。

10月10日は、株式会社龍角散代表取締役社長である藤井隆太さんを講師に招き「創業200余年 老舗企業の経営改革」のテーマで行われました。一般講義では先生の生い立ちや株式会社龍角散の取り組みについて語っていただき、成功の秘訣について学びました。

一般講義の後は特別講義「夜なベトーク」で参加者は講師と直接触れ合いながら、知識と交流を深めました。

町田 睿 氏



佐々木 毅 氏



藤井 隆太 氏



## いつまでも元気に 美郷町敬老会

美郷町敬老会が9月19日に美郷町北体育館と美郷町中央体育館で、9月20日に美郷町南体育館でそれぞれ開催され、満75歳以上の3,981人が招待されました。各会場では美郷町長者番付や、今年新たに敬老会に招待された方々が誕生した昭和14年、15年の出来事が紹介されました。さらに、演芸アトラクションや各こども園のお遊戯などが披露され、招待された皆さんも終始笑顔で過ごしていました。

## 一般の部優勝は新保公さん(岩手県山田町) 第25回民謡「長者の山」全国大会

10月10日と11日の両日、美郷町北体育館で第25回民謡長者の山全国大会が行われました。今年は県内外から、一般の部に63名、熟年の部に44名、ジュニアの部に22名の合計129名が出場し、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露しました。

各部門の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

<b>【一般の部】</b>	<b>【ジュニアの部】</b>
優 勝 新保 公 (岩手県山田町)	最優秀賞 澤木 美晴 (男鹿市)
準優勝 山本あやみ (秋田市)	優 秀 賞 太田なな子 (鹿角市)
第 3 位 大川あけみ (秋田市)	優 秀 賞 立石 静玖 (大館市)
<b>【熟年の部】</b>	
優 勝 斎藤きょう子 (秋田市)	
準優勝 鎌田七五三吉 (男鹿市)	
第 3 位 佐藤 ツギ子 (鹿角市)	





## JALプレゼンツブラウブリッツ秋田ホーム戦 美郷FCスポ少が エスコートキッズとして大活躍!

9月27日に秋田市八橋運動公園球技場でブラウブリッツ秋田対Jリーグ・アンダー-22の試合が行われ、美郷FCスポーツ少年団の子どもたちがブラウブリッツ秋田のエスコートキッズを務めました。

この試合は、町と連携協定を結んでいる日本航空株式会社（JAL）のスポンサー試合で、「美郷の未来のJリーガーに本物のピッチを感じてほしい」というJALの温かいお声掛けにより実現しました。エスコートキッズを務めた子どもたちは、大観衆の中、選手としっかり手を握り堂々とピッチに入場し、キックオフ直前の緊張感を味わいました。



## 経験と気付き

美郷町長 松田知己



歴史民俗資料館、佐々木毅記念室  
オープニングセレモニーで  
あいさつする松田町長

先般、友人の結婚式以来会ったことがなかった大学同期生数人と一緒になる機会がありました。二十数年ぶりの再会です。みんな、気持ちは昔のまんまで、本当に楽しい時間を過ごしました。一方、容姿はそれぞれ少しずつ変化しており、例えば髪、例えばお腹、例えば顔の皺しわなどに、改めて時間の経過を感じた次第です。

会話は、仕事や家族の話などが、やはりこの歳になると、容

# 風

姿の変化もあいまって健康の話題も出てくるもの。「体は大丈夫か?」、「何か薬を飲んでいるか?」などなど、歳にふさわしい(?)話題も出たところでした。

一方、こうした話題は、現在、それぞれが意識あるいは大事にしているからこそ盛り上がるわけで、「大学の時は健康の話なんて無かったな」なんて思いながら、友人と別れた次第です。改めて、人は年齢や経験を重ねないと気付かないこと、あるいは心配になる変化がないと意識できないことがあるんだなど、認識したところです。

さて話は変わって、先月、美郷町で不幸にも竜巻が発生しました。被害を受けました方々には心よりお見舞いを申し上げます。竜巻は予報が難しい

く、注意情報で意識喚起するしか手がありません。そのため美郷町では、防災行政無線を通じて気象庁の「竜巻情報」を瞬時にお伝えし、意識喚起に努めてきたところです。これまでは幸いにも発生がなく、度重なる竜巻情報に「うるさいなあ」という認識の方も居たかも知れませんが、実際の竜巻被害を目の当たりにしますと、やはり情報は「大切」と気付いてくださるものと思います。

今回は、不幸中の幸いで人的被害がありませんでしたが、今後も人的被害は回避するために、竜巻情報が流れましたら、窓ガラスが飛散しても怪我をしない大丈夫なところに移動することなどを実践していただきたいと思えます。それが、今回の経験から気付いたことであり、意識すべき事柄なんだろうと思います。

節目の思慮は記憶にとどまりやすいと言います。美郷町の誕生日に際し、改めて「経験から気付く」防災意識、持ちたいものです。